

スタートレック エンタープライズD

# STAR TREK

THE NEXT GENERATION

BUILD THE U.S.S. ENTERPRISE NCC-1701-D

シリーズガイド



# 本シリーズで組み立てるエンタープライズD

## スタジオモデルを再現した 迫力のダイキャスト!

本シリーズで組み立てるモデルは、「新スタートレック」(TNG)に登場するギャラクシー級の宇宙船U.S.S.エンタープライズNCC-1701-Dを忠実に再現した、全長約70cmのダイキャスト・レプリカだ。撮影に使用された3つのスタジオモデルを細かく調べて設計され、円盤部と推進部が分離可能で、翼やワープ・ナセルを光らせるイルミネーション・ライトを搭載している。船体には、フェイザー・アレイ、転送エミッタ、艦長専用艇、航法灯などの細かい装備まで再現されている。

### 船の軌り

船体内部に電飾用の照明設備があり、オリジナルのスタジオモデルと同様に、指定された部分だけ光らせることができる。

## 組み立ては簡単

すべてのパーツは、はめ込みで簡単に組み立てられる。接着剤や塗料は必要ない。

### 見角なし

本シリーズのモデルはあらゆる角度から見えるように設計されているので、どの角度からでもエンタープライズDの姿を楽しめる。

### エンジンの構造

ワープ・ナセルは、パワー・コレクターとフィールド・グリルで構成される。

### 発光するデフレクター

メイン・デフレクターは内側から発光する。

### ディスプレイ・スタンド

本シリーズのモデルはスタジオモデルを原形として作られており、ディスプレイ・スタンドもスタジオモデルの形状と同じ複製されている。

### 塗装済み

すべての部品は、事前に細かく塗装されている。船体番号などの数字はすでに印されている。

### 最新鋭制スラスター

円盤部の外側には最新鋭制スラスターなど、宇宙艦隊の宇宙船に搭載される各種装置が忠実に再現されている。

### 最新鋭の外装

船体外装は、はめ込みで固定される最新鋭のパネルで構成されている。

### ワープ・ナセル

それぞれのワープ・ナセルは独自の電飾を持つ独立したユニットだ。

全長  
約70cm!



# 大迫力かつ精巧なモデルの全容!

## 船体の色

エンタープライズ D の正確な色を再現するのは簡単な作業ではない。最初に作られたふたつのスタジオモデルは、グリーンがかかったソフトなブルーの上に、薄いグリーンのアステック・パターンという配色で塗装されていたが、視覚効果チームが選

影した映像ではグレーに近い色に見えた。そのため、「4フィートモデル」は、最初からグレーに塗装された。本シリーズのモデルは、可能な限り、映像に登場するエンタープライズ D の外観と、色を一致させようと試みている。



本シリーズのモデルは、特に TNG の HD リマスター版を参照して、画面上の外観に合わせて慎重に塗装されている。

## 船体分離

エンタープライズ D の最も記憶に残る機能は、船体がふたつの部分に分離する機能だ。本シリーズのモデルはそれが可能なように設計されており、円盤部と推進部を分離して、ふたつの船体を別々にディスプレイすることができる。円盤部と推進部のイルミネーション部分は、それぞれ独立しており、別々に操作することが可能だ。



エンタープライズ D の船体分離は、「未知への探検」で最初映像化された。



## イルミネーション

本シリーズのモデルの内部には電飾用のライトが搭載されている。船全体の窓、航法灯、メイン・デフレクター、推進エンジン、ワープ・ナセルがすべて発光する。円盤部と推進部は、独立した制御系と電源を備えているため、それぞれ独立して発光を操作できる。



照明効果が楽しめる航法のライト。



## 組み立ては簡単

本シリーズのモデルの製作は、簡単だ。すべてのパーツは単にはめ込むか、または所定の位置にネジ留めするだけ。配線は、コネクタでつなげるだけに設計されており、接続も容易だ。バッテリーパックと回路基板も提供されるので、イルミネーションの点灯テストも可能。



## 全長約 70cm

本シリーズのモデルは完成すると、全長約70cmで、金属フレームを備えている。撮影用のスタジオモデルと同じように推進部の下部に装着する、ディスプレイ用のスタンドも付属する。



※パーツの取り付け順序は説明書に記載されています。

## スタジオモデル

「新スタートレック」(TNG)の制作者たちは、撮影にあたり、3つの異なるU.S.S.エンタープライズNCC-1701-D(エンタープライズD)のスタジオモデルを使用した。インダストリアル・ライト&マジック(ILM)は、船体の拡大シーンの撮影に対応して精巧に作られた「6フィートモデル」(約1.8m)と、遠くから見た映像に役立つ、あまり精巧でない「2フィートモデル」(約60cm)のふたつを作った。「6フィートモデル」は円盤部と推進部が分離できる。第3シーズンからは、新たに作られた「4フィートモデル」(約1.2m)が使われた。「4フィートモデル」では、円盤部の厚みが増し、バーラウンド周辺の船室が変更されている。本シリーズで組み立てるモデルは、これら3つのモデルをベースにして設計されている。



エンタープライズの「6フィートモデル」は、円盤部が薄くて、表面が滑らかだった。また、3つのモデルの中で、円盤部と推進部が分離できる唯一のモデルだ。

「6フィートモデル」は映画「スタートレック：ジェネレーションズ」の撮影に使用するために複製され、再複製された。また、ILMは、不明瞭シーンに使う巨大円盤部のスタジオモデルも作っている。



TNGの視覚効果チームは、異なるシーズンにエンタープライズの「4フィートモデル」を新しく作った。外観の輪郭や船体の形状が、今までのモデルとわずかに異なっていたが、以前のシーズンの撮影にはこのモデルが使われた。

## 組み立てガイド

豊富な写真と丁寧な解説に沿って少しずつ組み立てています。

こちらのQRコードから組み立て説明書(PDF)をダウンロードしてください。

組み立てガイドダウンロードページ  
<https://deagostini.jp/sed/pdf/>

